

四 半 期 報 告 書

(第52期第2四半期)

株式会社 **ス・ピー・ワール**

E 0 1 4 3 5

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

株式会社 **スーパーステール**

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	3
3 【関係会社の状況】	3
4 【従業員の状況】	3
第2 【事業の状況】	4
1 【生産、受注及び販売の状況】	4
2 【事業等のリスク】	6
3 【経営上の重要な契約等】	6
4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	6
第3 【設備の状況】	9
第4 【提出会社の状況】	10
1 【株式等の状況】	10
2 【株価の推移】	12
3 【役員の状況】	12
第5 【経理の状況】	13
1 【四半期連結財務諸表】	14
2 【その他】	35
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	36

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成23年10月28日

【四半期会計期間】 第52期第2四半期(自平成23年6月16日 至平成23年9月15日)

【会社名】 株式会社スーパーツール

【英訳名】 SUPER TOOL CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 吉川 明

【本店の所在の場所】 堺市中区見野山158番地

【電話番号】 072—236—5521(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理本部長 篠畑 雅光

【最寄りの連絡場所】 堺市中区見野山158番地

【電話番号】 072—236—5521(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理本部長 篠畑 雅光

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第51期 第2四半期 累計期間	第52期 第2四半期連結 累計期間	第51期 第2四半期 会計期間	第52期 第2四半期連結 会計期間	第51期
会計期間	自 平成22年 3月16日 至 平成22年 9月15日	自 平成23年 3月16日 至 平成23年 9月15日	自 平成22年 6月16日 至 平成22年 9月15日	自 平成23年 6月16日 至 平成23年 9月15日	自 平成22年 3月16日 至 平成23年 3月15日
売上高 (千円)	1,927,316	2,610,573	970,183	1,524,572	3,846,093
経常利益 (千円)	138,993	172,506	71,678	106,158	318,137
四半期(当期)純利益 (千円)	90,164	92,632	52,240	56,447	142,401
純資産額 (千円)	—	—	5,068,756	5,148,916	5,050,301
総資産額 (千円)	—	—	8,513,099	9,652,184	8,533,586
1株当たり純資産額 (円)	—	—	624.21	647.46	639.23
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	11.10	11.72	6.43	7.14	17.74
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	—	—	59.5	53.0	59.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	43,565	△503,920	—	—	317,948
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	224,725	△44,287	—	—	165,819
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△547,710	925,164	—	—	△701,122
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	—	—	834,116	1,272,722	894,725
従業員数 (名)	—	—	87	98	87

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 当社は第52期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。第51期第2四半期累計(会計)期間及び第51期は提出会社個別の経営指標を、第52期第2四半期連結累計(会計)期間は連結経営指標を記載しております。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成23年9月15日現在

従業員数(名)	98 (88)
---------	------------

(注)従業員数は、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む就業人員であり、契約社員数46名及び臨時雇用者数の期中平均人員42名を()外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成23年9月15日現在

従業員数(名)	95 (85)
---------	------------

(注)従業員数は、当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人員であり、契約社員数45名及び臨時雇用者数の期中平均人員40名を()外数で記載しております。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
金属製品事業	1,029,990	—
環境関連事業	—	—
その他	—	—
合計	1,029,990	—

- (注) 1 金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。
2 環境関連事業及びその他における生産はありません。
3 当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(2) 仕入実績

当第2四半期連結会計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
金属製品事業	78,185	—
環境関連事業	495,191	—
その他	—	—
合計	573,376	—

- (注) 1 金額は仕入価格によっており、消費税等は含まれておりません。
2 その他における仕入はありません。
3 当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(3) 受注実績

当社グループは、受注生産を行っておりませんので、受注実績に関する記載は行っておりません。

(4) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
金属製品事業	1,136,132	—
環境関連事業	385,560	—
その他	2,880	—
合計	1,524,572	—

- (注) 1 当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

- 2 主要な地域別の輸出高及び輸出割合は次のとおりであります。
 ()内は、総販売実績に対する輸出高の割合であります。

輸出先	当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年6月16日 至 平成23年9月15日)	
	金額(千円)	割合(%)
アジア	248,904	87.7
ヨーロッパ	16,975	6.0
オセアニア他	17,998	6.3
計	283,878 (18.6%)	100.0

なお、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

- 3 主な相手先別の販売実績及びそれぞれの総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年6月16日 至 平成23年9月15日)	
	金額(千円)	割合(%)
トラスコ中山(株)	247,525	16.2
(株)オノマシン	236,037	15.5
(株)山善	187,447	12.3

なお、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

- 4 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受けたサプライチェーンの復旧や個人消費の持ち直し傾向が見られるものの、電力使用の制限や欧米諸国における財政問題等を原因とする円高や長引くデフレ等により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社のコア事業であります金属製品事業につきましては、積極的な販売活動と生産の効率化、コストダウンを積極的に推し進めてまいりました結果、ほぼ計画どおり推移いたしました。環境関連事業につきましては、今後の経営基盤の強化を図るため、平成23年4月に太陽光パネル販売の子会社YHS株式会社を設立し販売を開始いたしました。Yingli Green Energy Holding Co., Ltdからの入荷の遅れ等により当第2四半期連結会計期間においては計画を下回る結果に終わりました。

その結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は1,524百万円、営業利益は144百万円、経常利益は106百万円、四半期純利益は56百万円となりました。

なお、当社は当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比の表示は記載しておりません。

当第2四半期連結会計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(金属製品事業)

金属製品事業におきましては、IT産業等設備投資の回復、東日本大震災の復興需要等により、当セグメントの売上高は1,136百万円、セグメント利益は201百万円となりました。

(環境関連事業)

環境関連事業におきましては、東日本大震災、電力の供給不安等により太陽光パネルの需要が高まっている中で、YHS株式会社を4月に設立し、営業活動を開始いたしました。Yingli Green Energy Holding Co., Ltdからの納品の遅れ等もあり、当第2四半期連結会計期間における当セグメントの売上高は385百万円、セグメント利益は18百万円にとどまりました。

(その他)

当セグメントは、不動産賃貸事業の業績を表示しております。

当セグメントの売上高は2百万円、セグメント利益は1百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、9,652百万円となりました。

主な内訳は、流動資産では、現金及び預金1,282百万円、受取手形及び売掛金915百万円、商品及び製品1,101百万円及び仕掛品527百万円であり、固定資産では、有形固定資産4,803百万円、投資有価証券439百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、4,503百万円となりました。

主な内訳は、再評価に係る繰延税金負債1,359百万円、短期借入金990百万円、長期借入金774百万円、1年内返済予定の長期借入金498百万円、支払手形及び買掛金380百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、5,148百万円となりました。

主な内訳は、資本金1,463百万円、資本剰余金342百万円、利益剰余金1,719百万円、土地再評価差額金1,656百万円であります。

なお、当社は当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比の表示は記載しておりません。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,272百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動においては、税金等調整前四半期純利益171百万円、減価償却費66百万円及び仕入債務の増加72百万円等により資金の増加がございましたが、売上債権の増加382百万円、たな卸資産の増加213百万円、前渡金の増加額148百万円、法人税等の支払額100百万円等により、503百万円資金が減少となりました。

(投資活動におけるキャッシュ・フロー)

投資活動においては、有形固定資産の取得による支出44百万円等により、44百万円資金が減少となりました。

(財務活動におけるキャッシュ・フロー)

財務活動においては、長期借入金による調達600百万円及び短期借入金700百万円の純増等により資金の増加がございましたので、長期借入金の返済362百万円及び配当金の支払47百万円等がございましたが、925百万円資金が増加となりました。

なお、当社は当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比の表示は記載しておりません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間の研究開発費の総額は12百万円であります。

なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年9月15日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年10月28日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,245,480	8,245,480	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は 1,000株であります。
計	8,245,480	8,245,480	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年9月15日	—	8,245,480	—	1,463,274	—	289,896

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月15日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
竈 和 夫	大阪府大阪狭山市	406	4.92
(有)キョウリツ	大阪府大阪狭山市池之原4丁目81-1	350	4.24
濱中ナット販売㈱	兵庫県姫路市白浜町甲770	270	3.27
竈 志摩子	大阪府大阪狭山市	239	2.89
竈 利 英	大阪府大阪狭山市	227	2.75
竈 圭 人	大阪市西区	205	2.48
スーパーツール従業員持株会	堺市中区見野山158番地	190	2.31
松 井 房 子	堺市南区	178	2.15
吉 川 明	大阪府和泉市	178	2.15
㈱池田泉州銀行	大阪市北区茶屋町18-14	170	2.06
計		2,413	29.27

(注) 自己株式(345,080株 所有株式数の割合4.18%)を除いて表示しております。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成23年9月15日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 345,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式7,872,000	7,872	—
単元未満株式	普通株式 28,480	—	—
発行済株式総数	8,245,480	—	—
総株主の議決権	—	7,872	—

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)含まれております。

2 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式80株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成23年9月15日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社スーパーツール	堺市中区見野山158番地	345,000	—	345,000	4.18
計	—	345,000	—	345,000	4.18

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成23年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	353	318	499	492	381	349
最低(円)	252	275	285	361	288	290

- (注) 1 最高・最低株価は、大阪証券取引所 J A S D A Q (スタンダード)におけるものであります。
2 最近6箇月間の月別最高・最低株価は、平成23年4月1日から平成23年9月30日までの暦月によっております。

3 【役員の様況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表及び四半期財務諸表の作成方法について

- (1) 当社の当第2四半期連結会計期間（平成23年6月16日から平成23年9月15日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成23年3月16日から平成23年9月15日まで）に係る四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。
- (2) 当社の前第2四半期会計期間（平成22年6月16日から平成22年9月15日まで）及び前第2四半期累計期間（平成22年3月16日から平成22年9月15日まで）に係る四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。
- (3) 前第2四半期会計期間（平成22年6月16日から平成22年9月15日まで）及び前第2四半期累計期間（平成22年3月16日から平成22年9月15日まで）は四半期連結財務諸表を作成しておりません。そのため、前第2四半期連結会計期間（平成22年6月16日から平成22年9月15日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成22年3月16日から平成22年9月15日まで）に係る四半期連結損益計算書に代えて、前第2四半期会計期間（平成22年6月16日から平成22年9月15日まで）及び前第2四半期累計期間（平成22年3月16日から平成22年9月15日まで）に係る四半期損益計算書を記載しております。また、前第2四半期連結累計期間（平成22年3月16日から平成22年9月15日まで）に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書に代えて、前第2四半期累計期間（平成22年3月16日から平成22年9月15日まで）に係る四半期キャッシュ・フロー計算書を記載しております。
- (4) 前連結会計年度（平成22年3月16日から平成23年3月15日まで）は連結財務諸表を作成していないため、前連結会計年度（平成22年3月16日から平成23年3月15日まで）に係る要約連結貸借対照表に代えて、前事業年度（平成22年3月16日から平成23年3月15日まで）に係る要約貸借対照表を記載しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期会計期間（平成22年6月16日から平成22年9月15日まで）及び前第2四半期累計期間（平成22年3月16日から平成22年9月15日まで）に係る四半期財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成23年6月16日から平成23年9月15日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成23年3月16日から平成23年9月15日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽ASG有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】
 【当第2四半期連結会計期間末】

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末
 (平成23年9月15日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,282,776
受取手形及び売掛金	915,247
商品及び製品	1,101,159
仕掛品	527,760
原材料及び貯蔵品	220,906
前渡金	148,988
繰延税金資産	46,793
その他	16,748
貸倒引当金	△3,738
流動資産合計	4,256,642
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	※ 328,994
機械装置及び運搬具（純額）	※ 220,267
土地	4,171,371
その他（純額）	※ 82,761
有形固定資産合計	4,803,394
無形固定資産	10,920
投資その他の資産	
投資有価証券	439,803
繰延税金資産	64,201
その他	87,529
貸倒引当金	△10,308
投資その他の資産合計	581,226
固定資産合計	5,395,542
資産合計	9,652,184
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	380,783
短期借入金	990,000
1年内返済予定の長期借入金	498,268
未払金	178,226
未払法人税等	89,276
賞与引当金	36,000
その他	22,427
流動負債合計	2,194,981
固定負債	
長期借入金	774,732
再評価に係る繰延税金負債	1,359,280
退職給付引当金	99,175
その他	75,099
固定負債合計	2,308,286
負債合計	4,503,267

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成23年9月15日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,463,274
資本剰余金	342,076
利益剰余金	1,719,113
自己株式	△79,259
株主資本合計	3,445,204
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	14,809
土地再評価差額金	1,656,505
為替換算調整勘定	△1,324
評価・換算差額等合計	1,669,990
少数株主持分	33,721
純資産合計	5,148,916
負債純資産合計	9,652,184

【前事業年度末に係る要約貸借対照表】

(単位：千円)

前事業年度末に係る
要約貸借対照表
(平成23年3月15日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	904,779
受取手形及び売掛金	532,438
製品	912,495
仕掛品	516,953
原材料及び貯蔵品	206,830
繰延税金資産	40,111
その他	6,190
流動資産合計	3,119,799
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	※ 342,202
機械装置及び運搬具（純額）	※ 236,040
土地	4,171,371
その他（純額）	※ 73,335
有形固定資産合計	4,822,949
無形固定資産	11,411
投資その他の資産	
投資有価証券	399,107
関係会社出資金	51,951
繰延税金資産	82,504
その他	46,767
貸倒引当金	△906
投資その他の資産合計	579,426
固定資産合計	5,413,787
資産合計	8,533,586
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	307,528
短期借入金	290,000
1年内返済予定の長期借入金	363,480
未払金	177,772
未払法人税等	104,170
賞与引当金	33,600
その他	10,162
流動負債合計	1,286,714
固定負債	
長期借入金	671,851
再評価に係る繰延税金負債	1,359,280
退職給付引当金	90,340
その他	75,099
固定負債合計	2,196,570
負債合計	3,483,284

(単位：千円)

前事業年度末に係る
要約貸借対照表
(平成23年3月15日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,463,274
資本剰余金	342,076
利益剰余金	1,680,051
自己株式	△79,158
株主資本合計	3,406,243
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	△12,448
土地再評価差額金	1,656,505
評価・換算差額等合計	1,644,057
純資産合計	5,050,301
負債純資産合計	8,533,586

(2) 【四半期連結損益計算書】
 【当第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月16日 至平成23年9月15日)
売上高	2,610,573
売上原価	1,822,976
売上総利益	787,597
販売費及び一般管理費	※ 512,119
営業利益	275,477
営業外収益	
受取利息	2,926
受取配当金	3,205
その他	2,251
営業外収益合計	8,382
営業外費用	
支払利息	14,341
売上割引	34,434
為替差損	57,477
その他	5,100
営業外費用合計	111,353
経常利益	172,506
特別損失	
固定資産除売却損	355
投資有価証券評価損	400
特別損失合計	755
税金等調整前四半期純利益	171,751
法人税、住民税及び事業税	85,398
法人税等調整額	△5,001
法人税等合計	80,397
少数株主損益調整前四半期純利益	91,354
少数株主損失(△)	△1,278
四半期純利益	92,632

【前第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年3月16日 至平成22年9月15日)
売上高	1,927,316
売上原価	1,296,172
売上総利益	631,144
販売費及び一般管理費	* 450,506
営業利益	180,637
営業外収益	
受取利息	2,275
受取配当金	1,920
その他	3,712
営業外収益合計	7,908
営業外費用	
支払利息	12,860
売上割引	31,117
その他	5,576
営業外費用合計	49,553
経常利益	138,993
特別利益	
貸倒引当金戻入額	453
固定資産売却益	2
特別利益合計	455
特別損失	
固定資産除却損	72
特別損失合計	72
税引前四半期純利益	139,376
法人税、住民税及び事業税	47,658
法人税等調整額	1,554
法人税等合計	49,212
四半期純利益	90,164

【当第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月16日 至平成23年9月15日)
売上高	1,524,572
売上原価	1,111,274
売上総利益	413,298
販売費及び一般管理費	※ 268,519
営業利益	144,779
営業外収益	
受取利息	1,492
受取配当金	2,191
その他	1,609
営業外収益合計	5,293
営業外費用	
支払利息	7,588
売上割引	17,728
為替差損	18,446
その他	150
営業外費用合計	43,914
経常利益	106,158
特別損失	
固定資産除売却損	355
投資有価証券評価損	400
特別損失合計	755
税金等調整前四半期純利益	105,403
法人税、住民税及び事業税	63,595
法人税等調整額	△16,307
法人税等合計	47,287
少数株主損益調整前四半期純利益	58,115
少数株主利益	1,668
四半期純利益	56,447

【前第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成22年6月16日 至平成22年9月15日)
売上高	970,183
売上原価	642,192
売上総利益	327,990
販売費及び一般管理費	※ 234,981
営業利益	93,009
営業外収益	
受取利息	181
受取配当金	1,180
その他	630
営業外収益合計	1,992
営業外費用	
支払利息	6,199
売上割引	15,730
その他	1,392
営業外費用合計	23,322
経常利益	71,678
特別利益	
貸倒引当金戻入額	453
固定資産売却益	2
特別利益合計	455
特別損失	
固定資産除却損	72
特別損失合計	72
税引前四半期純利益	72,062
法人税、住民税及び事業税	37,371
法人税等調整額	△17,549
法人税等合計	19,821
四半期純利益	52,240

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】
【当第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成23年3月16日
至 平成23年9月15日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	171,751
減価償却費	66,476
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13,140
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,400
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,834
受取利息及び受取配当金	△6,131
支払利息	14,341
為替差損益 (△は益)	36,557
有形固定資産除売却損益 (△は益)	355
売上債権の増減額 (△は増加)	△382,808
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△213,555
仕入債務の増減額 (△は減少)	72,314
前渡金の増減額 (△は増加)	△148,989
その他	△28,496
小計	△393,810
利息及び配当金の受取額	4,603
利息の支払額	△14,328
法人税等の支払額	△100,386
営業活動によるキャッシュ・フロー	△503,920
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△44,249
投資有価証券の取得による支出	△1,613
その他	1,574
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,287
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	700,000
長期借入れによる収入	600,000
長期借入金の返済による支出	△362,331
自己株式の取得による支出	△100
少数株主からの払込みによる収入	35,000
配当金の支払額	△47,403
財務活動によるキャッシュ・フロー	925,164
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36,030
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	340,925
現金及び現金同等物の期首残高	894,725
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	37,071
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,272,722

【前第2四半期累計期間】

(単位：千円)

前第2四半期累計期間 (自 平成22年3月16日 至 平成22年9月15日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	139,376
減価償却費	66,724
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△453
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,900
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△12,544
長期未払金の増減額 (△は減少)	△26,151
受取利息及び受取配当金	△4,196
支払利息	12,860
有形固定資産売却損益 (△は益)	69
売上債権の増減額 (△は増加)	△60,924
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△66,472
仕入債務の増減額 (△は減少)	43,466
その他	7,412
小計	96,267
利息及び配当金の受取額	6,514
利息の支払額	△12,860
法人税等の支払額	△46,357
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,565
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	100,000
有形固定資産の取得による支出	△20,515
有形固定資産の売却による収入	8
投資有価証券の取得による支出	△1,461
投資有価証券の償還による収入	200,000
無形固定資産の取得による支出	△1,000
関係会社出資金の払込による支出	△51,951
投融資の回収による収入	1,900
従業員に対する長期貸付けによる支出	△2,440
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	185
投資活動によるキャッシュ・フロー	224,725

(単位：千円)

前第2四半期累計期間
(自平成22年3月16日
至平成22年9月15日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△370,000
長期借入れによる収入	150,000
長期借入金の返済による支出	△178,782
社債の償還による支出	△100,000
自己株式の取得による支出	△201
配当金の支払額	△48,727
財務活動によるキャッシュ・フロー	△547,710
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△279,420
現金及び現金同等物の期首残高	1,113,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 834,116

【継続企業の前提に関する事項】

当第2四半期連結会計期間(自平成23年6月16日 至 平成23年9月15日)
該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間(自平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
1 連結の範囲に関する事項の変更	(1) 連結の範囲の変更 当第1四半期連結会計期間より、新たに設立したYHS株式会社及び重要性が増した世派機械工具貿易(上海)有限公司を連結の範囲に含めております。 (2) 変更後の連結子会社の数 2社
2 会計処理基準に関する事項の変更	「資産除去債務に関する会計基準」等の適用 当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。 なお、この変更による損益への影響はありません。

【表示方法の変更】

当第2四半期連結累計期間(自平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
該当事項はありません。

当第2四半期連結会計期間(自平成23年6月16日 至 平成23年9月15日)
該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間は連結財務諸表の作成初年度であります。四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は、以下のとおりです。

項目	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
1 連結の範囲に関する事項	<p>子会社は全て連結しております。</p> <p>(1) 連結子会社の数 2社</p> <p>(2) 連結子会社の名称 YHS株式会社 世派機械工具貿易(上海)有限公司</p>
2 連結子会社の事業年度等に関する事項	<p>当社の連結子会社である世派機械工具貿易(上海)有限公司の決算日は12月31日であります。四半期連結財務諸表の作成にあたっては、同社の当第2四半期累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)の四半期財務諸表を基礎として、四半期連結決算を行っております。ただし、平成23年7月1日から四半期連結決算日平成23年9月15日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。</p> <p>また、当社の連結子会社であるYHS株式会社の四半期決算日は、四半期連結決算日と一致しております。</p>
3 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>その他有価証券</p> <p>(1) 時価のあるもの 期末日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)</p> <p>(2) 時価のないもの 移動平均法による原価法</p>
4 デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>デリバティブ 時価法</p>
5 たな卸資産の評価基準及び評価方法	<p>総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)</p>
6 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産(リース資産を除く) 定率法 ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物付属設備除く)については、定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。 建物 8年~50年 構築物 7年~45年 機械及び装置 10年</p> <p>(2) 無形固定資産(リース資産を除く) 定額法 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)による定額法</p> <p>(3) リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法 なお、リース取引開始日が平成21年3月15日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。</p> <p>(4) 長期前払費用 定額法</p>
7 引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 従業員の賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当第2四半期連結累計期間負担額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当第2四半期連結会計期間末における退職給付債務及び年金資産の残高に基づき計上しております。</p>

項目	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
8 ヘッジ会計の方法	<p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっております。 なお、特例処理の要件を満たす金利スワップについては、特例処理を採用しております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象</p> <p>a ヘッジ手段 金利スワップ</p> <p>b ヘッジ対象 借入金</p> <p>(3) ヘッジ方針 財務上発生している金利リスクをヘッジし、リスク管理を効率的に行うためにデリバティブ取引を導入しております。</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 ヘッジ対象のキャッシュ・フロー変動の累計と、ヘッジ手段のキャッシュ・フロー変動の累計とを比較して判断しております。 なお、特例処理によっている金利スワップについては、有効性の評価を省略しております。</p> <p>(5) その他 リスク管理の運営担当部署は経理部であり、社内稟議制度に基づく決裁のほか、取引導入時の目的・内容・取引相手・損失の限度額により、取締役会の承認を必要としております。</p>
9 キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲	<p>キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。</p>
10 その他連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>消費税等の会計処理方法 税抜方式によっております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月15日)	
※ 有形固定資産の減価償却累計額	4,201,317千円

当第1四半期連結会計期間から初めて四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度末の(連結貸借対照表関係)注記は記載しておりません。

なお、前事業年度末における(貸借対照表関係)注記は、次のとおりであります。

前事業年度末 (平成23年3月15日)	
※ 有形固定資産の減価償却累計額	4,147,370千円

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)	
※ 販売費及び一般管理費の内、主要なものは次のとおりであります。	
役員報酬	43,324千円
給料	148,775千円
賞与引当金繰入額	16,477千円
退職給付費用	5,271千円
貸倒引当金繰入額	13,140千円

当第1四半期連結会計期間から初めて四半期連結財務諸表を作成しているため、前第2四半期連結累計期間の(四半期連結損益計算書関係)注記は記載しておりません。

なお、前第2四半期累計期間における(四半期損益計算書関係)注記は、次のとおりであります。

前第2四半期累計期間 (自 平成22年3月16日 至 平成22年9月15日)	
※ 販売費及び一般管理費の内、主要なものは次のとおりであります。	
役員報酬	37,507千円
給料	129,160千円
賞与引当金繰入額	14,429千円

第2四半期連結会計期間

当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年6月16日 至 平成23年9月15日)	
※ 販売費及び一般管理費の内、主要なものは次のとおりであります。	
役員報酬	23,060千円
給料	72,365千円
賞与引当金繰入額	12,587千円
退職給付費用	2,674千円
貸倒引当金繰入額	13,140千円

当第1四半期連結会計期間から初めて四半期連結財務諸表を作成しているため、前第2四半期連結会計期間の（四半期連結損益計算書関係）注記は記載しておりません。

なお、前第2四半期会計期間における（四半期損益計算書関係）注記は、次のとおりであります。

前第2四半期会計期間 (自 平成22年6月16日 至 平成22年9月15日)	
※ 販売費及び一般管理費の内、主要なものは次のとおりであります。	
役員報酬	18,865千円
給料	65,581千円
賞与引当金繰入額	10,881千円

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)	
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
現金及び預金	1,282,776千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△10,053千円
現金及び現金同等物	1,272,722千円

当第1四半期連結会計期間から初めて四半期連結財務諸表を作成しているため、前第2四半期連結累計期間の（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）注記は記載しておりません。

なお、前第2四半期累計期間における（四半期キャッシュ・フロー計算書関係）注記は、次のとおりであります。

前第2四半期累計期間 (自 平成22年3月16日 至 平成22年9月15日)	
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
現金及び預金	834,116千円
現金及び現金同等物	834,116千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成23年9月15日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成23年3月16日
至平成23年9月15日)

1. 発行済株式の種類及び総数

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	8,245,480

2. 自己株式の種類及び株式数

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	345,080

3. 新株予約権の四半期連結会計期間末残高

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月10日 定時株主総会	普通株式	47,403	6.00	平成23年3月15日	平成23年6月13日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会
計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月14日 取締役会	普通株式	47,402	6.00	平成23年9月15日	平成23年11月14日	利益剰余金

5. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業別に「金属製品事業」、「環境関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

「金属製品事業」は、作業工具及び産業機器等の金属製品の製造及び販売をしております。

「環境関連事業」は、太陽光パネル等の環境関連商品の仕入及び販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	金属製品事業	環境関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,219,253	385,560	2,604,813	5,760	2,610,573
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,219,253	385,560	2,604,813	5,760	2,610,573
セグメント利益	418,461	5,296	423,757	2,373	426,130

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

当第2四半期連結会計期間(自 平成23年6月16日 至 平成23年9月15日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	金属製品事業	環境関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,136,132	385,560	1,521,692	2,880	1,524,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,136,132	385,560	1,521,692	2,880	1,524,572
セグメント利益	201,566	18,973	220,540	1,189	221,729

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

3 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	423,757
「その他」の区分の利益	2,373
セグメント間取引消去	1,023
全社費用(注)	△151,676
四半期連結損益計算書の営業利益	275,477

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結会計期間(自 平成23年6月16日 至 平成23年9月15日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	220,540
「その他」の区分の利益	1,189
セグメント間取引消去	△1,591
全社費用(注)	△75,358
四半期連結損益計算書の営業利益	144,779

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

なお、金利スワップ取引を行っておりますが、いずれもヘッジ会計を適用しておりますので注記の対象から除いております。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(資産除去債務関係)

該当事項はありません。

(賃貸等不動産関係)

賃貸等不動産の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月15日)
647.46円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成23年9月15日)
純資産の部の合計額(千円)	5,148,916
普通株式に係る純資産額(千円)	5,115,194
差額の主な内訳(千円) 少数株主持分	33,721
普通株式の発行済株式数(千株)	8,245
普通株式の自己株式数(千株)	345
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(千株)	7,900

当第1四半期連結会計期間から初めて四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度末の1株当たり純資産額は記載しておりません。

なお、前事業年度末における1株当たり純資産額は、次のとおりであります。

前事業年度末 (平成23年3月15日)
639.23円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	前事業年度末 (平成23年3月15日)
純資産の部の合計額(千円)	5,050,301
普通株式に係る純資産額(千円)	5,050,301
普通株式の発行済株式数(千株)	8,245
普通株式の自己株式数(千株)	344
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(千株)	7,900

2 1株当たり四半期純利益金額等

第2四半期連結累計期間

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)	
1株当たり四半期純利益金額	11.72円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	92,632
普通株式に係る四半期純利益(千円)	92,632
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,900

当第1四半期連結会計期間から初めて四半期連結財務諸表を作成しているため、前第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は記載しておりません。

なお、前第2四半期累計期間における1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、次のとおりであります。

前第2四半期累計期間 (自 平成22年3月16日 至 平成22年9月15日)	
1株当たり四半期純利益金額	11.10円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期累計期間 (自 平成22年3月16日 至 平成22年9月15日)
四半期損益計算書上の四半期純利益(千円)	90,164
普通株式に係る四半期純利益(千円)	90,164
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,120

第2四半期連結会計期間

当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年6月16日 至 平成23年9月15日)	
1株当たり四半期純利益金額	7.14円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年6月16日 至 平成23年9月15日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	56,447
普通株式に係る四半期純利益(千円)	56,447
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,900

当第1四半期連結会計期間から初めて四半期連結財務諸表を作成しているため、前第2四半期連結会計期間の1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は記載しておりません。

なお、前第2四半期会計期間における1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、次のとおりであります。

前第2四半期会計期間 (自 平成22年6月16日 至 平成22年9月15日)	
1株当たり四半期純利益金額	6.43円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期会計期間 (自 平成22年6月16日 至 平成22年9月15日)
四半期損益計算書上の四半期純利益(千円)	52,240
普通株式に係る四半期純利益(千円)	52,240
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,120

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第52期(平成23年3月16日から平成24年3月15日まで)中間配当については、平成23年10月14日開催の取締役会において、平成23年9月15日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

- ① 配当金の総額 47,402千円
- ② 1株当たりの金額 6円00銭
- ③ 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成23年11月14日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年10月27日

株式会社スーパーツール

取締役会 御中

太陽ASG有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 北垣 栄一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 荒井 巖 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社スーパーツールの平成22年3月16日から平成23年3月15日までの第51期事業年度の第2四半期会計期間（平成22年6月16日から平成22年9月15日まで）及び第2四半期累計期間（平成22年3月16日から平成22年9月15日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社スーパーツールの平成22年9月15日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間の経営成績並びに第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成22年10月18日開催の取締役会決議に基づき、平成22年10月19日に自己株式を取得している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年10月26日

株式会社 スーパーツール
取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 北垣 栄一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 荒井 巖 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社スーパーツールの平成23年3月16日から平成24年3月15日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年6月16日から平成23年9月15日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年3月16日から平成23年9月15日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社スーパーツール及び連結子会社の平成23年9月15日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成23年10月28日

【会社名】 株式会社スーパーツール

【英訳名】 SUPER TOOL CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 吉 川 明

【最高財務責任者の役職氏名】 ー

【本店の所在の場所】 堺市中区見野山158番地

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長吉川 明は、当社の第52期第2四半期(自 平成23年6月16日 至 平成23年9月15日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。